

議題 2 (委員会決裁事項 (規則第 3 条第 1 号))

グローバルリーダーズハイスクールの指定について

下記 10 校 (全日制の課程) について、令和 3 年度から令和 5 年度まで、グローバルリーダーズハイスクールに指定する。

府立北野高等学校  
府立豊中高等学校  
府立茨木高等学校  
府立大手前高等学校  
府立四條畷高等学校  
府立高津高等学校  
府立天王寺高等学校  
府立生野高等学校  
府立三国丘高等学校  
府立岸和田高等学校

令和 2 年 10 月 19 日

大阪府教育委員会

## 令和3年度からのグローバルリーダーズハイスクール（GLHS）の指定について

### 1. GLHS 指定の経緯について

- 平成 21 年 6 月の教育委員会会議において、下記 10 校（以下、「現指定校」という。）を平成 23 年度から平成 26 年度まで GLHS に指定することを報告。
- 平成 26 年度に「大阪府グローバルリーダーズハイスクール評価審議会（以下、評価審議会という。）」が行った 3 年間の総合評価を踏まえ、平成 27 年度から平成 29 年度まで現指定校を再指定。
- 平成 29 年度に評価審議会が行った平成 26 年度から平成 28 年度の総合評価を踏まえ、平成 30 年度から令和 2 年度まで現指定校を再指定。

府立北野高等学校、府立豊中高等学校、府立茨木高等学校、府立大手前高等学校、府立四條畷高等学校、府立高津高等学校、府立天王寺高等学校、府立生野高等学校、府立三国丘高等学校、府立岸和田高等学校

### 2. 現指定校の評価について

令和 2 年 7 月 17 日に実施した評価審議会において、平成 29 年度から平成 31 年度における評価が行われた。評価は、各校が独自に取り組む「確かな学力の向上」などの「取組評価項目」と、現指定校が共通して取り組む「英語運用能力」などの「実績評価項目」の 2 つに大きく分けられ、それぞれに設定している 4 つの項目のほぼすべてが「成果を上げた」とされる A 以上の評価となった。

また、評価審議会として「現指定校がそれぞれの特色を競い合って素晴らしい成果を上げた。令和 3 年度からの 3 年間も現指定校を GLHS に指定すべきである」との結論が出された。

### 3. 今後の GLHS の方向性

令和 2 年 7 月 17 日に実施した評価審議会において、「現指定校以外の学校を育てるような仕組みづくりを検討すべきである」、「GLHS の評価項目に成果普及の観点を入れるべきである」といった提言がなされた。

これを踏まえ、今後、各校で実施している課題研究発表会等に他校生徒が参加したり、教員研修に他校教員が参加したりするなど、他校への普及についても評価項目に取り入れる。これにより、成果をより普及させるとともに、立地を生かし、各地域の人材を育成する拠点校となることをめざす。

グローバルリーダーズハイスクール 平成29年度～平成31年度の3か年の事業評価

参考2

学校名	取組評価項目												実績評価項目												平成29年度総合評価	平成30年度総合評価	平成31年度総合評価	評価委員会の評価基準	AAA AA A B C	きわめて高い成果を上げた。 高い成果を上げた。 成果を上げた。 取組に工夫の余地がある。 取組に見直しの余地がある。	
	確かな学力の向上を図る			豊かな感性と、たくましく生きるための健康と体力をはぐくむ			高い志をはぐくみ、進路実現をめざす			教員の指導力向上をめざす			総合的な学力の測定			課題研究活動			英語運用能力			進学実績									
	H29	H30	H31	H29	H30	H31	H29	H30	H31	H29	H30	H31	H29	H30	H31	H29	H30	H31	H29	H30	H31	H29	H30	H31							
	3年間評価			3年間評価			3年間評価			3年間評価			3年間評価			3年間評価			3年間評価						コメント						
北野	AA	A	AA	A	A	A	AA	AA	AA	A	A	A	AAA	AAA	AAA	A	AA	AA	AA	AA	AA	AAA	AAA	AAA	AA	AA	AA				伝統を重んじながらも、新たな取組を積極的に取り入れ、「知・徳・体」のバランスの取れた生徒を育成している。教科指導では常に工夫改善を行い、他校へもその成果を広めていることは府全体のレベルアップに貢献しているといえる。課題研究でもWWL事業の拠点校として他校と連携し業務を果たしている。大阪府のみならず日本を代表する公立高校として、たゆみなく進化し、発展していることを高く評価し、さらなる躍進を期待する。
豊中	A	A	AA	A	A	A	A	A	A	AA	A	AA	AA	A	A	AA	A	B	AA	AA	AA	AA	AAA	AAA	AA	A	AA				SSHとSGH指定校であることを踏まえ、課題研究においては多様で質の高い取組を展開し、生徒のプレゼンテーション力の充実も著しい。進学実績についても着実に成果を上げており、主体的な学びが進学のモチベーションを引き上げたのであろう。国際交流や地域貢献においても様々な実践を展開し「しなやかで心折れない」生徒を育成している。100周年をひかえ、将来のビジョンも明確である。GLHSの中で最も伸ばした学校として、これからも躍進されたい。
茨木	A	A	A	AA	A	AA	A	AA	AA	A	AA	AA	AA	A	AAA	B	A	B	AA	AA	AA	B	AAA	AAA	A	AA	AA				「二兎を追うたくましさ」から「枠を超える知性」を育む教育へと目標をシフトチェンジして、様々な取組をとどまることなく展開し続けている。生徒が自分たちで学校をデザインし、その領域も広く、学校生活全体が主体的に学ぶ生徒を育成する装置となっている。また、教員の指導力向上についてもバディシステムを活用するなど工夫がみられる。OB・OGや保護者も協力的で、応援者が多いことも学校文化の特色である。伝統を大切にしつつ、新しい時代に向けた指導や評価のあり方についてさらに研鑽を積み、進展させていきたい。
大手前	B	A	A	A	A	A	AA	A	A	AA	AA	A	AA	AAA	AA	AA	A	AA	AA	AA	AA	AA	AAA	AAA	AA	AA	AA				大阪城を臨む恵まれた環境のもと、伝統的に豊かでスマートな教育実践が営まれている。同窓会等からの支援も受け、様々に行われている海外研修についても、生徒に目的を明確に示すことで、効果を上げている。課題研究もこれまでから継続的・組織的に指導が行われており、高いレベルで実施できている。自習室を設置するなど、きめ細やかな生徒への学習支援もみうけられる。生徒の変容に敏感に反応できることが、今後の育成には必要であろう。さらなる展開に期待する。
四條畷	A	A	A	A	A	A	A	AA	AA	B	A	A	A	AA	A	AA	A	A	AA	AA	AA	AA	AA	AAA	A	A	A				登録文化財の白垂の学び舎で豊かな教育活動が営まれており、「守る伝統から創る伝統へ」のキャッチフレーズのもと、地域に根差し愛されている伝統校である。課題研究の指導も組織化されており持続可能な体制作りが図られている。ベトナムのボランティアツアーなどは目的が明確であり、社会貢献意識を育む取組みとして高く評価できる。校風にあこがれて入学する生徒も多く、学校満足度も高い。これからも様々な活動を通じてグローバルリーダーを育成されることを望む。
高津	A	B	A	AA	A	AA	B	A	AA	AA	A	AA	A	AA	AAA	B	B	AA	AAA	AA	AA	A	B	AA	A	A	AA				100周年事業で設置された「KOZU Creative Lab!」など、地域に開かれた教育資源をうまく活用し、個性を重んじ自立した生徒を育成するプログラムが高い次元で実践できている。課題研究についても、継続的に指導できるカリキュラムやマニュアルが用意されており、着実に成果を上げている。支援学校との交流やボランティア活動など広く社会とつながる取組も継続して行われ、グローバルリーダーとして真に必要なマインドが形成される仕組みを構築できている。今後も様々な取組を他校へも発信し、波及させてもらうことを期待する。
天王寺	AA	AA	AA	AA	AA	A	AA	AA	AA	A	AA	A	AAA	AAA	AAA	A	AAA	AAA	AA	AA	AA	AAA	AA	AAA	AA	AA	AAA				「天高育成プログラム」で育てたい生徒像を明確にし、「秀才を誇らず野人を誇る。」という教育目標を実践している。課題研究については組織的に運営でき、全国レベルの高い実績を継続的に上げている。また海外研修や校内留学から野外活動に登山と多様なプログラムを様々な実施することでグローバルリーダーの高い志やたくましさを育てている。教科指導についても様々な研鑽の機会を設けていることは評価できるが、一方で教員の多忙については構造的に解消される必要がある。日本を代表する公立高校として、次なる改革を期待する。
生野	AA	A	A	A	A	AA	A	AA	AA	B	A	A	A	A	B	B	B	B	AA	AA	AA	AAA	B	AA	A	A	A				教育目標である五綱領(剛健・質実・自重・自治・至誠)に基づく「人間教育」を部活動や学校行事を含む学校教育全体で実現しようとしている。リーダー育成に取り組み、高い次元での「文武両道」を果たしていることは評価できる。とくに「灯プロジェクト」は社会で活躍するOB・OGに生徒が直接接することで、学びへのモチベーションを高める優れた取組みである。生野高校の魅力や余すことなく教員と生徒が理解し、享受している体制は心強い。100周年を迎え、さらなる躍進を期待する。
三国丘	A	A	A	AA	AA	A	AA	A	AA	A	A	AA	A	AA	AAA	AAA	B	AA	AA	AA	AA	AAA	AA	A	AA	A	AA				歴史と伝統を尊重しながら、SSHやSGHなど新たな取組に挑戦し続け、その成果を共有することでさらに前進させていることをまずは評価したい。特に課題研究については評価指標を明確にし、改善を続けており、その成果として全国レベルでの受賞など、めざましいものがある。授業力向上の取組や初任者に対する指導も体制ができてきている。今後は生徒が学業やそれ以外の活動に適度に打ちこめるようなバランス感覚を身に付けさせることも必要であろう。三国丘高校の次なる挑戦に期待する。
岸和田	AA	A	B	A	A	A	A	A	A	AA	AA	A	A	A	A	B	B	AA	AA	AA	AA	A	A	B	AA	A	A				この3年間でGLHSとして進めてきた取組を可視化し、生徒教員がともに共有できるよう工夫している。課題研究と英語の取組の融合や主体的・対話的で深い学びに対応した授業改善を学識からの指導を含め全学的・組織的に進めていることは特に評価したい。新たに設置されたスーパークラスについては成果と課題を明確にしPDCAを回していただきたい。地域連携もできており、岸和田高校の今後の展開に期待する。

2-3

※取組評価はAA～Cの4段階、実績評価はAAA～Cの5段階